

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 087	提案機関名 自然環境保全センター
<b>要望問題</b> ササ開花地域での植生変化のモニタリング	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 丹沢山地では、平成25年度、26年度に各地で大規模なスズタケの一斉開花が見られている。スズタケは一斉開花した後枯死することが知られているが、丹沢山地では過去に大規模な一斉開花の記録が無く、その後、植生がどのように推移するのかは不明である。一方で、丹沢山地では、シカの過密化による過度の採食圧によるササの矮小化、枯死が指摘されていることから、今回の一斉開花により、ブナ林の林床劣化が急速に進み、土壌流出に繋がる可能性も考えられる。 そこで、今回ササが開花した地域での、植生の推移を植生保護柵の有無やシカ密度との関連等からモニタリングし、緊急的な対策の必要性の検討されたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター②畜産技術センター③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	自然環境保全センター	<b>担当部所</b>	研究連携課
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 「ブナ林生態系の再生技術の改良」及び「シカ生息環境モニタリング」			
<b>対応の内容等</b> 当課において県内各地でスズタケの一斉開花を確認しています。スズタケなどのササは一生に一回しか繁殖しないとされており、開花して種子をつくと枯死します。一方で一部の開花個体は生存し続けるともされており、ササそのものの生態的特性が十分に解明されたわけではありません。 スズタケが枯死した後は樹木が世代交代する良い機会ですが、その実証的データはほとんどありません。丹沢を含む各地には定点の試験地があると同時に、平成24年度からは積雪深と一緒にササの生育状況も調べています。 そこで、ササ開花地域における植生変化について、次年度から標記課題の中で対応していきます。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			